



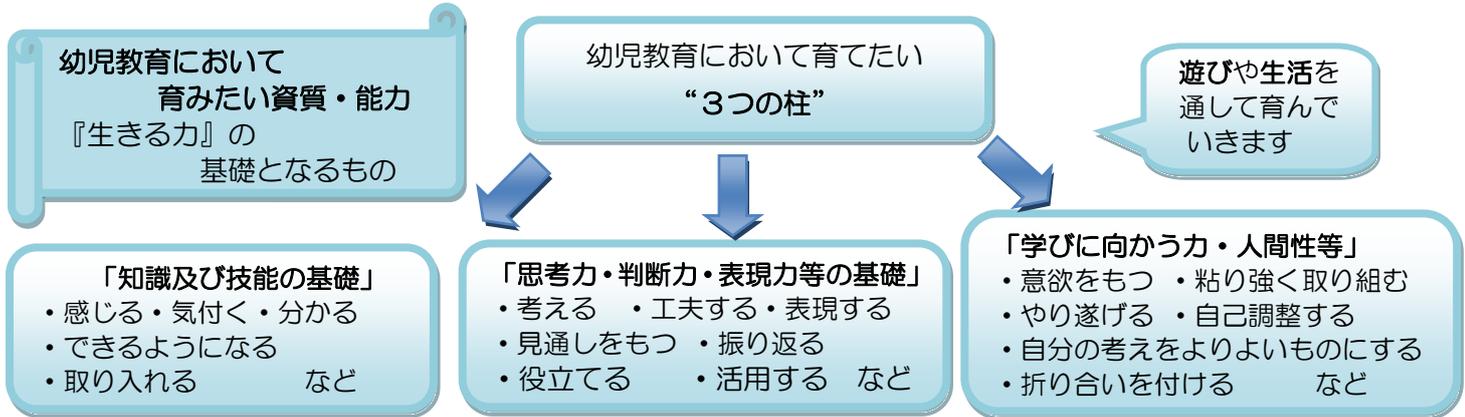
まえはようちえんだより

第2学期を終えて



令和3年12月24日
小田原市立前羽幼稚園
園長 越川 知香子

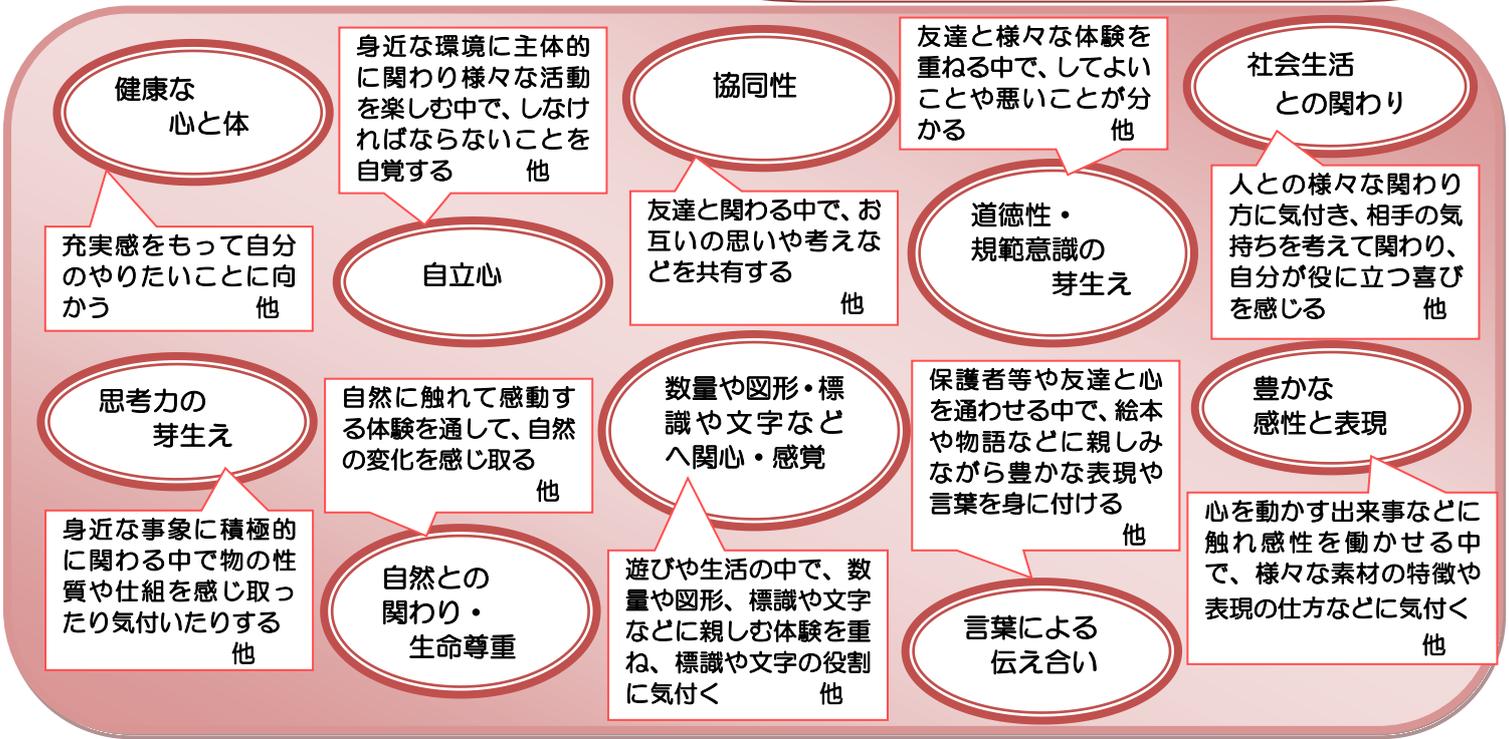
新型コロナウイルスの変異種の存在が未だ、私たちの日常生活を脅かし、気を緩めることはできませんが、感染対策を励行しながら以前の日常生活を取り戻しつつあります。第2学期が始まった頃は、感染拡大が止まらず、緊急事態宣言が発令され、給食開始時期も見送らざるを得ない状況でした。そんな中、園内の感染対策をさらに強化しながら、できることを探し子どもたちの育ちを保障したいと職員一同一丸となって進めてまいりました。運動会（まえはミニリンピック）や、生活発表会（まえはげきじょう）など、日頃の遊びから発展した行事や、前羽地域の自然を味わえる遠足や飼育栽培活動など、楽しい思い出と実体験の積み重ねから実りの多い時間を過ごすことができました。10人のキラキラした瞳に、毎日元気をもらい、子どもたちと共に過ごす喜びを感じながら第2学期を終えることができました。これも、園の教育活動にご理解をいただき、常に温かい目で見守ってくださった、保護者と地域の皆様のおかげです。職員一同、心より感謝いたします。



幼児期の終わりまでに育ってほしい“10の姿”

学校教育の始まりとしての幼稚園教育を通じて育まれた資質・能力を「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を手がかりにして小学校につないでいきます。

○ は「10の姿」 □ はキーワードです。



第2学期の思い出



<まえはミニリンピック>

夏休み中に見た東京オリンピックに刺激を受けて「今年の運動会は“まえはミニリンピック”にしよう！」と子どもたちからアイデアが出ました。今年も保護者2名、感染対策を徹底しながらの運動会ということで、保護者にお手伝いをいただき、子どもたちだけの力で経験しました。また、年少年長合同リズムは年長児の頑張りに年少児も刺激を受け年少児なりに伸び伸びと表現することができました。感染が懸念されたため、他の親子との接触は配慮しながらも親子の触れ合いを十分に実現できるよう、体操・競技・リズムなどの内容を子どもたちと一緒に考え入れ込みました。子どもたちと保護者の皆様の嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。ご協力ありがとうございました。



<サッカー教室>

今年度から再開したサッカー教室を毎月楽しみにしている子どもたち。「明日はサッカーがあるよ！」と担任が話すと「早くサッカーやりたいな！」という声が聞かれます。コーチがいろいろなアイデアで多様な動きが経験できるメニューを考えてくださり、少し難しいメニューに向かって、毎回楽しそうに取り組んでいます。



<まえはげきじょうごっこ・まえはげきじょう本番>

9月に前羽の海岸に一匹のマッコウクジラが打ち上げられました。地域の方が教えてくれたので見に行ってみました。そこで見たクジラの大きさに圧倒され、そのクジラとの出会いに心が揺り動かされて、子どもたち同士がイメージを伝え合い、ストーリーがみるみるうちに膨らんでいきました。エクシア劇団の劇をみせてもらったこともあって、自分たちも劇ごっこを楽しむ中で、「お客さんにみてもらいたい！」という思いから、日頃お世話になっている校長先生（前羽小）と地域の皆様を招待して披露しました。みてもらった経験から自信をもった子どもたちは、1週間後の本番では、さらに、積み重ねた経験を思う存分披露し、保護者の皆様にみていただくことができました。実体験の重要性を再確認しました。



<キラキラ星との交流>

12月2日、キラキラ星の親子（7組）が遊びに来ました。園庭の砂場で一緒に大きな山をつくって遊んだり、ホールでミニコンサートをしたりしました。1年生の交流時の姿に刺激を受けて、「司会進行は自分たちでやりたい！」と張り切って取り組んでいました。当日は自信をもって進める姿に成長を感じました。



<おたのしみ会>

イルミネーションが点灯し、鈴の音と共にサンタクロースが現れると、子どもたちは大喜び。サンタさんに一人一人名前を伝えたり、いろいろな質問に答えてもらったりしました。また、クリスマスにちなんだ絵カード遊びをして楽しい時間を過ごしました。プレゼントをもらったり、写真撮影をしたりした楽しい思い出と共にさらに英語への興味関心が高まりました。



<親子ふれあい清掃美化作業>

保護者の皆様と子どもたちで、幼稚園ピカピカ大作戦を行いました。子どもたちは、遊具庫内の物を全て出して拭き掃除をしました。「次はこれ持って行こう！」「せ～の！」と一人一人が自分の出せる力を友達と合わせて頑張る姿がありました。前羽の子どもたちには本当に感心させられます。保護者の皆様には、室内全般の清掃をしていただきました。高所はお父さんにお願し、少人数にも関わらず1時間程で、園内はピカピカになりました。その後は、「親子ふれあいタイム」、体操やしっぽ取りゲームを行いました。保護者の皆様も本気モードになってしっぽ取りに行く姿が印象的でした。最後はグータッチをして見送りました。



小学校・地域・ボランティアの皆様を支えられて



<坊山・オリーブ畑>

初めて坊山登りを経験する年少児も年長児に支えられて最後まで登ることができました。到着すると**見晴らしの良さ**に、「高いね!」「幼稚園が見えるかな?」「JRが走ってる!」などと大喜びでした。煎餅とラムネ(おやつ)をいただいた後、鬼ごっこや伝承遊びを楽しみ「また来ようね!」と次の約束をして名残惜しそうに帰路につきました。



<タマネギ植え>

によ村さんが今年もタマネギ植えを教えてくださいました。苗や肥料について、子どもたちに分かりやすく説明してくれました。全部で100本**(一人8本程)植える経験**をしました。1本経験する度に、植え方が上手になる子どもたちから、**積み重ねの重要性**を感じました。生長と収穫を楽しみに大切に育てていきます。



<エクシア劇団の観劇>

観劇依頼の連絡をした際に「今年は、前羽幼稚園のために練習してますよ!」と**嬉しい言葉**をいただき、実現することができました。子どもたちは、食い入るように劇をみているのが、とても印象的でした。お客さんとしてみせてもらう中で、「自分たちも演技をみてもらいたい」という思いが“まえばげきしょう”に繋がりました。



<ラジオ体操・けん玉遊び>

ダイヤモンドマンションにお住まいの佐川さんが、「**ラジオ体操**」を教えてくださいました。10分間、音楽に合わせて腕や膝など伸ばしたり、曲げたりして**体全体を動かしました**。朝の澄んだ空気の中行だったので、とても気持ちよく体を動かすことができました。その後は、「**けん玉遊び**」を教えてくださいました。数回経験するうちにできるようになる子ども数人いて、友達に刺激を受けて、さらに頑張ろうとする姿も見られました。日頃**なかなか経験できない昔の遊び**を教えてくださいました。今から、第3学期に教えてくださいよう日を楽しみにしています。



<和太鼓>

歌詞を覚え和太鼓に合わせて元気に歌えるようになってくると活気が出て、さらに子どもたちの士気も上がってくる様子がありました。左右のリズムも揃ってきていることで、**自信にも繋がっている**ようです。年少児も短時間参加ですが、年少児なりに楽しんでます。**地域の伝統文化を肌で感じられる経験**に感謝しています。



<みかん狩り>

今年は卒園児の祖父母である石塚さん(げんき畑の近く)の畑でみかん狩りをさせていただきました。石塚さんから**みかん狩りの仕方を教えてもらうと次第にはさみの扱い方が上手**になり、たくさんのみかんを収穫することができました。また、『みかんの花咲く丘』の童謡は**国府津が発祥の地**であるという**地域の歴史**も教えてくださいました。



<幼小交流 1年生>

前羽小学校の1年生が、「あきとあそぼうミラクルパーク」に招待してくれました。ほし組の子どもたちにとっては、昨年たくさんお世話になった年長さん(1年生)がいることでとても楽しみしていました。挨拶をした後、会の流れや遊びのコーナー・遊び方を丁寧に説明してくれ、コマ屋さんや、アクセサリー屋さん、おもちゃ・楽器屋さんなど、いろいろなコーナーに行って遊ぶことができました。コマ、けん玉、やじろべえなどの遊び方を優しく教えてもらったり、作った作品をお土産にいただいたりしました。**年長児にとって、さらに小学校への期待が膨らんだ**ようで、「また来たいです!」と大きな声で感想を言う姿がありました。



イネの栽培を通して 一米づくり大作戦—



5月26日 地域の北村さんから、イネをもらいました。初めて見る子どもも多く、見た感触や匂いを嗅いだりして五感で体験しました。



5月27日 土づくり イネ植え みんなで相談し、育てることにしました。田んぼの代わりに、バケツの中に植えることにしたため、土と水を入れて準備をします。水と土をよく混ぜてから、イネを少しずつに分けて倒れないようにそそっと押しながら植えていきました。



9月29日 鳥に食べられないようにキラキラテープを巻いたお陰でたくさん実りました。実のつき方や触り心地などに気づき、友達と伝え合う姿がありました。



9月3日 夏休みが明け、さらに背丈が伸びたイネに気付いた幼児が、自分の胸に手を当てて、「ここまで伸びた〜!」と喜ぶ姿がありました。



7月9日 毎日、水やりをしながら、大切に世話をしています。「こんなに伸びてきた〜!」と伸び幅の印を見ながら伸び幅に驚きながら毎日生長を楽しみにしていました。



10月1日収穫 ~12月5日乾燥

収穫の時期を迎えました。イネの根本を切り、少しずつ束ねて乾かすことにしました。年長さんも年少さんも全員が経験し、保育室の風通しのよいところで乾燥させました。前羽地域には水田があまり見られないので、イネが干してある光景を園内で経験することができました。



12月6日 粳摺り・脱穀 牛乳パックの口に穂のついた茎を入れ、挟んで実を採ります。採れた実をすり鉢に入れ、すり棒を使ってこすると、粳殻が取れます。うちわで仰いで殻を飛ばすと米が現れました。「あ〜お米が出てきた!」と嬉しそうに繰り返す取り組みながらも「お米づくりって大変!」と米をつくる大変さを知り、同時に農家の方への感謝気持ちを抱くことができた経験となりました。



12月8日~ 精米 玄米を瓶の中に入れて箸で練り返しつつきます。根気のいる作業ですが、皆で交代して行きました。瓶の底を見ては、「白い粉が出てきた!」と喜ぶ姿がありました。時間をかけてできた米は、皆で少しずつ分けて持ち帰りました。地域の皆様の温かいご支援のおかげで、米を育てる体験ができました。感謝いたします。



明日からの冬休みに向けて

明日から冬休みに入ります。今年の冬休みは祭日の関係もあって、少し長め（17日）の冬休みです。感染対策に十分ご配慮いただき、お子さんやご家族の皆様にとって思い出に残る充実した冬休みになるようにお過ごしください。第3学期は、進級・進学に向けて心と体の準備が大切な時期になります。今までの生活習慣を崩さないようにご配慮をお願いします。今年一年無事に過ごせたことに感謝しつつ、また来年が前羽幼稚園の子どもたち・保護者の皆様・職員にとって、幸多き年になりますようにお祈りしています。そして、1月11日（火）に元気な子どもたちの顔を見られることを楽しみにしています。